



三井金属鉱業株式会社

三井金属

東京都品川区大崎 1-11-1

郵便番号 141-8584

2006年3月30日

報道各位

三井金属 ペルーで新たな亜鉛鉱山の操業を開始

～パルカ鉱山を開山、亜鉛精鉱 31,400 t /年の生産を見込む～

当社 三井金属（社長 榎原 紘）は、このたびペルー国内で鉱業権を有するパルカ鉱山を新たに開発し、亜鉛鉱石の採掘ならびに亜鉛精鉱（ 1 ）の生産を本格的に開始いたしました。

今後、同鉱山では、年間 31,400 t（地金換算約 16,000 t /年）の亜鉛精鉱の生産を見込んでおります。

<パルカ鉱山の操業開始>

1968 年以来、当社は既にペルー国内においてワンサラ鉱山（ 2 ）を操業してまいりましたが、このたび開山するパルカ鉱山は、同国で本格操業を行う 2 例目の亜鉛鉱山となります。同鉱山は、ワンサラ鉱山から南へ直進約 40 k m の標高 3,800 ~ 5,000 m に達するアンデス山系に位置します。1995 年に探鉱を開始して以来、当社は、約 3,800 百万円を投じ同鉱山の開発を進めてまいりました。操業開始後は、パルカ鉱山の鉱石から年間約 31,400 t（地金換算約 16,000 t /年）の亜鉛精鉱を生産し、ほぼ全量を日本へ輸出する予定です。

同鉱山の操業は、現在ワンサラ鉱山を運営するサントルイサ鉱業（三井金属 70% 出資）が当社から租鉱権（ 3 ）を得て行います。組織上ワンサラ鉱山の付属鉱山として位置付けられる同鉱山では、亜鉛精鉱の生産において選鉱など主要な生産工程をワンサラ鉱山の既存設備で行います。

<亜鉛市場の動向等>

現在、建値が堅調に推移する亜鉛地金市場では、原料供給がタイトな状況にあります。このような状況を克服するため当社は、かねてより、自社グループからの調達原料を増やすべく既存のワンサラ鉱山に加え新たな鉱山開発を進めてまいりました。

このたび、パルカ鉱山の開山に至り当社は、亜鉛製錬事業をより有利に展開し、亜鉛の国内トップメーカーとして各方面への供給責任を一層果たしてまいり所存です。

1. 亜鉛精鉱... 鉱山から採掘された鉱石（亜鉛分約 10%）を選鉱という工程で処理を行い生産される亜鉛地金の原料（亜鉛分約 50%）。
2. ワンサラ鉱山... 当社グループ傘下に属するペルーの亜鉛鉱山。首都リマから北方へ道程約 440 km のアンデス山系にある。当社グループのサンタルイサ鉱業（株）が 1968 年に操業を開始し現在に至る。亜鉛精鉱を年間約 57,000 t 生産する。
3. 租鉱権... ある鉱山の鉱業権者から、収益の一部を支払うことなどを前提に取得する鉱石採掘の権利。

【ご参考】

サンタルイサ鉱業株式会社（Compania Minera Santa Luisa S.A.）

所在地：（本社）AV. Republica de Panama 3531, Piso 15 San Isidro, Lima Peru

代表者：取締役社長 佐藤 敬

資本金：1,566,000 ソーレス（三井金属 70% 出資）

事業内容：亜鉛鉱などの採掘・選鉱

その他：ペルー国における当社グループの鉱山企業。ワンサラ・パルカの両鉱山を主力とし、亜鉛鉱石など探鉱・採掘事業を展開する。1964 年設立。

以 上

【本件お問い合わせ先】

三井金属 経営企画部広報室 桜井・浅木 TEL 03-5437-8028 FAX 03-5437-8029
Eメール koho@mitsui-kinzoku.co.jp